

## 岡山県支部

### ワークライフバランスの効果的な運用の研究

#### 概要

ワークライフバランスの推進に関しては、平成 19 年に「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」と「仕事と生活の調和推進のための行動指針」が策定された。

岡山県においても、平成 16 年に「新岡山いきいき子供プラン」が策定され、「おかやま子育て応援宣言企業」の登録を推進している。そこで、岡山県内で、ワークライフバランス推進に積極的に取り組んでいる「おかやま子育て宣言企業」にご協力いただき、取り組み実態についてアンケート調査、聞き取り調査を行った。

#### 第 2 章 アンケート集計結果

調査実施時期は、平成 22 年 8 月現在で、「おかやま子育て応援企業」として登録されている 156 社にアンケート用紙を郵送して、回答を郵便で返信していただいた。

有効回収サンプル数は 66、回収率は 42.3%。

企業が、ワークライフバランス推進の目的で、どんな効果を期待しているのかという質問に、複数回答として、「長期就業しやすい環境」を期待している企業が、71.9%と最も多い。続いて、「必要な人材の確保」51.6%、「従業員（職員）のモチベーションアップ」43.3%と、企業は人材面での効果を期待した目的が上位となった。

ワークライフバランス推進目的で実施した取り組みの複数回答は、「年次有給休暇の利用促進」が 46.8%、「パート・アルバイトの活用」が 45.2%となった。いっそう充実したい取り組みについては、「年次有給休暇の利用促進」が 43.1%と高く、次に「所定労働・休日労働の削減」が 32.8%となっており、休日増加、労働時間の削減につながる取り組みが上位になった。

業務面で実施した取り組みについて複数回答では、現状は「業務情報の共有化」が 48.4%、次いで「従業員間のコミュニケーション向上」38.7%、「経営コンサルタントの活用」37.1%になった。

いっそう充実したい取り組みでは、「経営コンサルタントの活用」34.5%、「業務情報の共有化」が 31.0%、「従業員間のコミュニケーション向上」と「従業員の多能工化」が 25.9%となった。

また、実施した取り組みは、複数回答で「保育園・介護施設の情報」32.3%、「従業員の受給できる給付金など」25.8%、「情報提供・相談窓口の設置」と「休業中の会社の動き」が 19.4%になった。いっそう充実したい取り組みも、実施した取り組みとほぼ同じである。

#### 第 4 章 研究会からの提言

ワークライフバランスを実施するうえで推奨項目は、次のとおりである。

- 1) 「生産性向上に結びつける」
- 2) 「さまざまな働き方を提供する」

- 3) ワークライフバランスを「経営理念に盛り込み」、従業員に対する考え方を明確にする
- 4) 「従業員間のコミュニケーション環境の醸成」
- 5) 「職場の実情に合わせた柔軟な取り組み」
- 6) 「技術伝承をはかる取り組み」

また、注意項目は、次のとおりである。

- 1) 「施策と運用のバランスに注意」する
- 2) 導入した取り組みの効果測定を行う
- 3) 「従業員ニーズに柔軟に対応する」
- 4) 「世代間認識ギャップを是正する」